

岩坪チーム

岩坪威教授が米国メトライフ財団より

**MetLife Foundation 2008 Award for Medical Research** を受賞

アルツハイマー病研究に貢献した研究者に授与される米国「メトライフ医学研究賞」の今年の受賞者に、岩坪チーム（研究課題「アルツハイマー病根本治療薬創出のための統合的研究」）・岩坪威・東京大学大学院医学系研究科教授（神経病理学）が選ばれました。受賞理由は、本研究課題でも中心テーマの1つとされている「 $\gamma$ セクレターゼ研究に対する貢献」です。

岩坪教授らは、アルツハイマー病の病因タンパク質  $A\beta$  を生成する酵素「 $\gamma$ セクレターゼ」の機能と構造について研究を進めてきました。現在  $\gamma$ セクレターゼの阻害薬・修飾薬はアルツハイマー病の治療薬として有望視され、製薬企業による開発も進められています。

贈呈式は2009年2月18日、米国ワシントンDCで行われました。同賞は1986年に創設され、これまでに48名が受賞。日本人では井原康夫・東京大学名誉教授（現・同志社大学教授）に次いで2人目の受賞です。